

連載28

そして音楽の旅は続く

## 過密スケジュールで疲れてた



新年あけましておめでとうございます。皆様にとって2022年が穏やかで明るい年になりますようお祈り申し上げます。コロナウィルス感染症が拡大して以来、私達のような生演奏を生業とする音楽家はLIVE中止や、ガラガラの店内、YouTube配信でしか活動ができませんでした。でも昨秋やっと活動が再開され、とても嬉しいです!クリスマスには(As)大友義雄さん、(P)山本剛さん、(B)香川裕史さん、(Ds)大隅寿男さんと恒例のクリスマスライブで賑やか〜楽しかった〜。まずはお客様が会場にいて、ゴキゲンなミュージシャンがいて、企画してくれるお店が

あって、本当のジャズLIVEは成り立つんだなー。やっぱりLIVEは最高です。やめられませんね。どうか今年は感染者が増えませんが。

さて昔々の話に戻りましょう。10代のころは地道なコンサート活動をしていましたが、20代にはLPが発売され、まとまった曲数ができたので遂にライブハウスでの単独LIVEが始まりました。レコーディングではスタジオミュージシャンが演奏しますが通常のLIVEについては、事務所が専属ミュージシャンを付けてくれました。たしかピアノトリオ+ギターの編成で、レコーディングされたものと同じ事ができるように何度もリハーサルを重ねました。いつも良い仕事をしてくれるミュージシャンには感謝でしたが、この頃の私は恐らくベストを尽くせていなかったような気

ジャズボーカリスト  
星乃けい

official website  
<https://www.hoshinokei.com>

がします。若いんだし、人並外れて身体が弱いわけでもないんだけど、過密スケジュールで疲れてたのかなあ?何だか不完全燃焼の記憶があります。

ヒット曲を出すために、それからヒットが出てからの日々を、私はとてつもなく長い時間感じていました。その間、じつは歌を唄う機会は激減していて、撮影、取材、喋る仕事が殆どでした。ラジオ出演をしてもお喋りの後はレコードを回してくれる…だから歌は唄わない



2005年12月14日、ジャズシンガーとして待望のリーダーアルバム「NEARNESS OF YOU/星乃けい」、2006年12月20日「IN A SENTIMENTAL MOOD/星乃けい」をリリース。ジャズファン、ジャズメン、オーディオファンから高く評価支持される